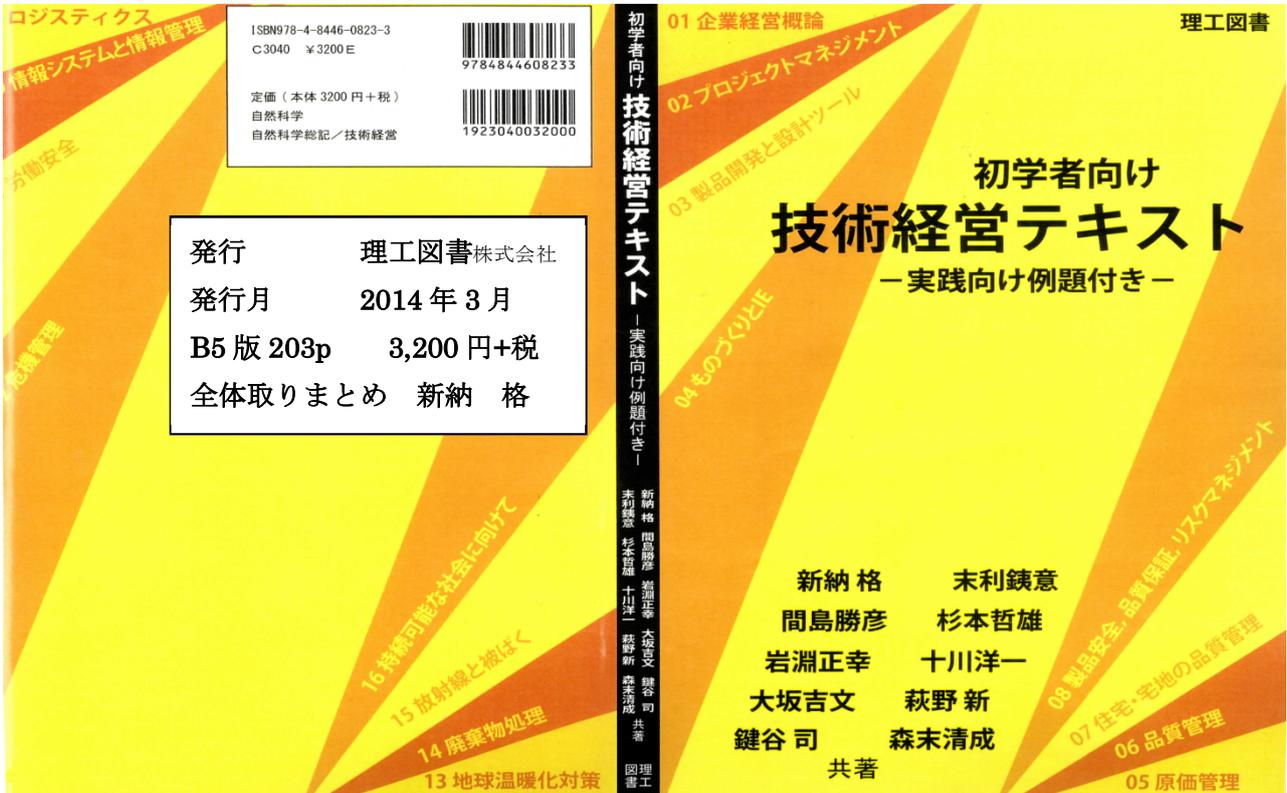


技術士が出版した新刊図書案内

初学者向け**技術経営テキスト**—実践向け例題付き—



【内容紹介】

○本書は、高専や大学の学部学生、社会人が技術経営の基盤を見直す場合などを想定している。本書は、過去5年にわたる「企業経営」の講義テキストをベースにして、機械、電気、情報、経営、建設、化学及び環境などの分野から、技術経営の基盤を選択的にまとめた初めての書である。筆者は、公益社団法人日本技術士会近畿本部に所属する経験豊富な技術者である。そのため初学者を対象とした基礎的内容でありながら、最新で実際的なレベルの高いものが厳選されている。全体が16章の構成。各章の題名と著者名等は、鯨阪氏のカバーデザインに掲出した。

【レビュー】技術経営とは、MOT (Management of Technology) または TIM (Technology and Innovation Management) などと訳される。経産省大学連携推進課の「技術経営のすすめ MOT—産学連携による新たな人材育成に向けて—」によれば、技術経営とは「技術に立脚する事業を行う企業・組織が、持続的発展のために、技術が持つ可能性を見極めて事業に結びつけ、経済的価値を創出していくマネジメント」とされている。大学院などで高度な技術を学んだのに、苦労して開発した技術を経営に生かせない、製品化して価値有るものに変換できない、などという状況は、テストでは、高得点取れるが使えないという英語学習に似ている。本書がこのような不幸な出来事の減少に少しでも貢献できれば幸甚である。